

令和2年度施政方針

子育て・

教育環境の充実で 人が集うまちに



3月2日、市議会3月定例会議で近藤市長が令和2年度の施政方針を表明しました。

今号では市政運営の基本的な考え方と主要施策の内容を抜粋して紹介します。

令和2年度は、市の最上位計画となる第2次安来市総合計画の後期基本計画の開始年度です。この計画では、「安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含することとし、人口減少対策を含めて一体的に策定します。

これまでも、人口減少対策の一環として、県内他市をリードする子育て・教育支援策を講じてきました。予防接種費用の助成や就学援助、中学3年生までの医療費無料化、特別教室を含

むエアコンの早期設置などです。大型のハード事業が一段落した令和2年度は、自身の政策信念の原点に立ち返り、「子育てしやすいまちづくり」を政策の柱とします。引き続き安来市の政策の代名詞ともいえるべき「子育て・教育支援」をさらに磨き上げたいと考えています。

予算編成は、中期財政計画を踏まえ、費用対効果、事業規模、実施時期や終期の設定等を検証し、緊急性、必要性を考え、予算措置を行いました。

保育所・幼稚園・認定こども園などでは、季節の行事や地域の文化を取り入れた活動や体験に取り組んでいます。
写真は認定こども園荒島。





◀母子健康包括支援センターを設置する安来市健康福祉センターには、子どもたちが遊べるプレイルームがあります。どなたでも利用できます。
▶つどいの広場で遊ぶ子ども。安心して子育てができるよう関係機関との連携を図り、支援を充実させます。



令和2年度の主な施策

子育て・教育・文化

●子ども未来課に母子健康包括支援センター「愛称「ぴっこりーに」」を設置します。妊娠届および母子健康手帳交付の場所をこのセンターに集約します。

すべての妊婦さんとの面談を行うことで、妊婦さんやその家庭の状況、支援ニーズ等を把握します。これにより、妊娠期から相談できる窓口として、妊婦さんやその家族との関係性を構築し、妊娠期から出産、子育てに向けた切れ目ない支援体制を整えます。

●昌林会安来第一病院内に「病児保育室すこやか」を設置します。病気の回復期に至らない幼児、児童を一時的に預かり、保護者が安心して働くための環境を整備します。

●利用希望が多い十神、赤江小学校区で、安全で安心して放課後を過ごすことができる居場所を確保するため、放課後児童クラブの施設整備を行います。

●放課後に「遊びの場」「生活の場」を提供し、子どもの主体性を尊重しながら健全な育成を図ります。

●教育のICT（※）環境の整

備を年次的に行います。令和2年度は、各中学校へ大型提示装置を整備します。

●大型提示装置の整備がすでに完了した小学校では、デジタル教科書等を活用し、学習効果を高め、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業実施を目指します。

●富田城跡が地域のランドマークとなり、観光資源あるいは生涯学習の場として活用できるよう引き続き整備します。具体的には、千畳平、山中御殿、山頂部地区の史跡保護工事、歴史資料館のガイダンス施設の整備等を実施します。

●今後は、情報発信をさらに強化し、誘客につなげたいと考えています。

保健・医療・福祉

●安来市立病院では、地域の安定した医療提供や二次救急の拠点機能の充実を目指し、関係機関等との医療連携を強化します。

●また、関係者との協議を通じて、市立病院の将来を見据えた抜本的な経営改革に取り組みとともに、新安来市立病院の基本構想の策定を行います。

▼安来・月山戦国ロマンウォーク。



▼パソコンを一人一台使った授業。



※情報通信技術。学校では、教材などを映し出すことができ、大型提示装置やパソコンを使った授業が行われています。

●高齢者福祉の充実は、第7期安来市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき取り組みます。安来市地域包括支援センターの機能強化、介護予防事業の拡充、安来市在宅医療支援センターを中心とした在宅医療・介護連携を進めます。高齢者が住みなれた地域で、最期まで自分らしい生活ができる地域づくりを行うため、地域包括ケアシステム(※)の充実を図ります。※医療・介護・予防・生活支援などのサービスの提供を受けることができ、その人らしく生活できるように地域支援体制。

防災・防犯

●防災・減災力を高めることで、被害の発生を抑制するとともに、速やかな復旧につなげます。国土強靱化地域計画(※)をはじめとした各種計画の策定、防災訓練の実施、物資の備蓄、自主防災組織への活動支援、防災士資格取得支援による地域防災力の向上を図ります。※災害対策のための計画。あらゆるリスクを捉え、最悪な事態を避けられるような「強じん」な行政機能や地域社会を事前につくっておくというもの。



産業・観光・雇用

●農業生産基盤と組織的農業の構築を図るため、大塚地区、安田地区、宇賀荘第三地区、吉田地区、下山佐地区の大区画ほ場整備を推進します。

●地域の商業機能の維持を図るため、空店舗等への出店を促す目的で家賃補助や改装費補助を行います。また、中山間地における店舗整備および移動販売車購入補助を実施し、商業機能の維持・向上を図ります。



▲比田地区では高齢者の買い物を支援。

都市基盤・生活

●安来木次線切川2工区(安来市総合文化ホールアルテピア前に新設中の県道)、都市計画



●恵まれた自然や環境を維持、保全していくためには、長期的な視点と広範囲での取り組みが必要です。中海・穴道湖・大山圏域市長会の事業として「自然環境学習事業」の取り組みを進めます。夏と冬に開催する「子ども探検スクール」等を通じて、市内の子どもたちに中海・穴道湖をはじめとした圏域の豊かな自然環境を学ぶ機会を提供します。

自然・環境保全

道路飯島線（安来木次線から前飯島交差点に続く県道）と安来市街地を東西に結ぶ市道安来港飯島線（第一中学校前の市道）の拡幅改良を令和6年度完了を目標として進めます。

●中海ふれあい公園に令和3年度の完了を目標として、スポーツ広場の一部およびランニングコース等の整備を進めます。

●日ノ丸自動車株式会社が運営する米子市と松江市を結ぶバス路線が9月末をもって撤退します。これに伴い、国道9号上の東西の移動手段が大幅に縮小されることから、イエローバスによる代替路線を新設し、市民の移動手段の確保に努めます。



①市内では、コメだけでなく、高収益作物の栽培も進んでいます。②外国人向けの防災訓練を行うなど、日本人だけでなく地域に住む外国人の防災意識を高めています。③生活習慣病の予防・改善の学習や調理実習を行う教室。④東比田交流センターで行われる「え〜ひだ逢い愛お食事会」。食事やおしゃべりをしながら楽しいひとときを過ごします。⑤市道安来港荒島線は、子どもたちが安全に通学するためにも整備が急がれます。⑥水環境学習ツアーでのコハクチョウ観察。⑦植栽をし、緑豊かな公園に整備する中海ふれあい公園。

参画・協働 行財政

●島根県の「小さな拠点づくり事業」で、東比田地区および比田地区がモデル地区として採択されています。この事業は人口減少や高齢化の進行により、市民生活に必要なサービスや機能の維持が困難となりつつある地域での、暮らしを守り、地域コミュニティを維持し、持続可能な地域づくりを目指すものです。市では、県の優良モデルとなるよう、全力でバックアップしていきます。

●安定的な財政基盤の確立に向けて、現在策定中の「第4次安来市行政改革大綱実施計画」に示した重点事項を着実かつ集中的に進めます。

令和2年度施政方針の全文は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。トップページ>市政>市長の部屋>施政方針・所信表明

問い合わせ

政策秘書課

☎23-3060

